

「農泊インバウンド受入促進重点地域」各地域の取組のポイント

No	農政局	都道府県	市区町村	協議会名	地域における主なインバウンド向けコンテンツ	評価のポイント
1	本省	北海道	美唄市	一般社団法人ステイびばい	<ul style="list-style-type: none"> ・日本最大級のスノーアクティビティが楽しめる美唄スノーランド ・安田侃彫刻美術館、アルテピアッツァ美唄を中心としたアート空間 ・日本でも有数の食品サンプルづくりが出来る体験館 ・美唄のソウルフード、美唄やき鳥、美唄とりめし 	美唄スノーランドはゴルフ場の冬期利用で、積雪の多い当地ならではの活用方法。タイや台湾、アジア圏の個人客をターゲットに旅行博出展や商談会に参加しておりインバウンド受入に積極的に取り組んでいる。
2	東北	岩手県	遠野市	遠野ふるさと体験協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・「民話のふるさと遠野」 ・カッパをはじめとする民話や神楽等の郷土芸能 ・遠野産ホップのクラフトビールやジンギスカン、伝統料理 	花巻空港から台湾の直行便があり、航空会社や花巻温泉郷との連携など広域での取組が計画されている。提携している農家民宿や農家レストラン、体験提供者は、農業従事者が多く、農泊での売り上げが所得向上に直結している。
3	東北	岩手県	奥州市	ころもがわ農泊地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産「平泉」に隣接 ・カヌー体験(流れの穏やかな川での初心者も楽しめる) ・小さな牧場で馬やヤギと遊べる古民家貸切宿泊 	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに多くのインバウンド客を集める世界文化遺産、平泉から宿泊客を誘客するため、牧場での馬やヤギとのふれあいや、流れの緩やかな川を活かしたカヌー体験等、地域資源を活かしたコンテンツの造成に取り組む計画となっている。 ・訪日時期のピークが地域の観光シーズンと重なるタイをターゲットとして位置づけ、旅行会社及びインフルエンサーの招聘によるツアーの造成と販売等に計画的に取り組むこととしている。
4	東北	宮城県	石巻市	牡鹿半島浜泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域の暮らしや一次産業の在り方などについての課題解決を考えるスタディツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災での被災地としての経験や、未利用魚の活用等の漁村ならではの地域課題を踏まえたスタディツアーを軸とし、それに関心を持つことが予想される学びの意識が高い富裕層グループをターゲットとして設定している。誘客に際しての連携先についても一定のめどをつけ、今後のインバウンド受入の伸びが期待される。
5	東北	宮城県	蔵王町	蔵王農泊振興協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・春季は雪壁ウォーク、夏はお釜見学、秋は紅葉、冬季は樹氷ツアー ・キツネと触れ合える「キツネ村」 ・陶芸、染物、こけしの絵付けやチーズ作りなどの地域文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用した戸建型宿泊施設を目標年次までに100軒まで増やし、AD認証の強みを活かす取組としている。 ・ハラールやベジタリアンへの食事にも配慮しており評価できる。
6	東北	秋田県	仙北市	一般社団法人 仙北市農山村体験推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との農作業やきりたんぼ、餅菓子等の郷土料理 ・農家民宿、ペンション、ロッジなど ・カヌーやサップなどアウトドア・アクティビティ ・乳頭温泉郷、田沢湖、角館の武家屋敷通り 	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド受入について仙北市として目標を設定し、次世代の人材の確保のための宿泊単価向上等、明確な課題意識を持って取り組む計画となっている。 ・既に確立されているインバウンド向けコンテンツを軸に、交通系企業のターゲット国現地法人等とも連携するなど、具体性を持って取り組む計画となっている。
7	関東	栃木県	大田原市	大田原グリーン・ツーリズム推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・農家民宿に宿泊して受入家族と一緒に過ごす体験 ・いちご狩り、そば打ち体験 ・有形文化財ホテル飯塚邸、農家ホテル「アグリツーリズム」6軒 ・コンシェルジュの案内による郷土料理や農家との会話 	<ul style="list-style-type: none"> ・有形文化財ホテル飯塚邸や、農家ホテル「アグリツーリズム」の宿をはじめとした地域の宿泊コンテンツや、農業体験を活かした受け入れを進める計画となっている。 ・ターゲット設定についてこれまでの実績を踏まえて団体旅行は台湾中心、個人旅行は米、豪、欧の順で設定するなど、具体的に整理されている。
8	関東	埼玉県	秩父市横瀬町 皆野町長瀬町 小鹿野町	秩父地域農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・秩父夜祭(ユネスコ無形文化遺産)ほか300の祭り ・秩父盆地の気候で育つイチゴやブドウ ・酒造り(イチローズモルトウイスキー、日本酒、ワイン等) ・四季折々の自然(春の芝桜、秋の紅葉、冬の氷柱など) ・ライン下りなどのアウトドア体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・日帰り客の多さ、インバウンドの割合が少ないこと等、地域の課題を明確に捉え、インバウンド対応の宿泊施設の充実やターゲットに訴求する体験コンテンツのPR等、課題に対応した取り組みを行い、インバウンド延べ宿泊者数を大幅に増やす計画となっている。 ・秩父地域の120軒以上の農泊受入家庭や、300以上の祭りなど、地域コンテンツを活かした取組を行う計画となっている。

「農泊インバウンド受入促進重点地域」各地域の取組のポイント

No	農政局	都道府県	市区町村	協議会名	地域における主なインバウンド向けコンテンツ	評価のポイント
9	関東	埼玉県	滑川町	滑川町農泊推進協議会	・日本農業遺産「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」	・自地域を目的として訪れるインバウンドが少ないという課題を踏まえ、地域資源である日本農業遺産「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」をテーマとした観光コンテンツのインバウンド向けの磨き上げを進める計画となっている。
10	関東	神奈川県	鎌倉市	鎌倉農泊協議会	・マリナクティビティ(海水浴やサーフィンやSUP) ・寺社仏閣参拝 ・人力車 ・鎌倉野菜やシラスを用いたローカルグルメ	・既に一定のインバウンド受入実績がある中でも、ハラール対応の飲食店がないことで機会損失を招いているという課題を踏まえ、鎌倉野菜や湘南の水産物といった地域産物を活用しながら、宿泊者数に占めるインバウンド割合を50%とすることを目指す計画としている。 ・オーバーツーリズムが懸念される地域において、農山漁村部を含む多様なコンテンツへの誘導を図ることにより一部の人気コンテンツへの一極集中を避け、持続可能な観光地づくりを目指す計画としている。
11	関東	山梨県	身延町	みのぶ農泊地域連携協議会	・身延山(日本仏教三大霊山) ・宿坊 ・伝統文化体験 ・ローカルガストロノミー体験	・既に一定のインバウンド受入実績がある中で、宿泊者数を大幅に増やすとともに宿泊者数に占めるインバウンド割合を70%とする高い目標を掲げているところ、宿坊のワーキングホリデースタッフを起点とするPRの循環が確立されるなど、実現に向けた期待が感じられる計画となっている。 ・GI登録されている「あけぼの大豆」の収穫体験など、地域固有の農産物資源の活用も盛り込まれた計画となっている。
12	関東	山梨県	笛吹市	笛吹市農泊観光ツーリズム推進協議会	・世界農業遺産に認定された日本一の桃葡萄ワイン造り ・縄文遺跡の出土が多い、縄文文化や古墳文化の遺跡 ・地域の高齢者による食体験プログラム ・地域の伝統行事である「おみゆきまつり」	富士河口湖にインバウンドが集中しているなか、当該地域を訪れてもらう仕掛けづくり(世界農業遺産を紹介する体験ツアーやワイン造り体験など)が計画されている。 既存のHPや予約フォームを多言語対応にするとともに地域通訳案内士と連携したプログラムを整備することとしている。
13	関東	長野県	南木曾町	南木曾「ウェルネス農泊」推進協議会	・古民家を活かした「日本初の体験型ラグジュアリー・ホテル」 ・海外で有名な「サムライ・トレイル」(中山道の古道と宿場町)をプライベート・ガイドと歩くツアー ・オリンピック選手をプライベート・ガイドにした自然体験(シャワークライミングや川下り) ・木地師&塗師(林業・木工業・伝統工芸)の文化体験 ・茶農園や茶師・茶碗・茶道など、お茶文化を多角的に知る体験	・既に地元農業や林業・木工業に、それぞれ数千万円規模の経済効果を生んでいる中で、地域資源の更なる活用や地域への専門人材の定着を念頭に置いた計画となっている。 ・1泊35万円~のホテルなど、高付加価値(高単価)の商品を販売していて、先進性がある ・欧米を中心に、インバウンドから人気がある(農泊拠点となるホテルは、インバウンド率が70%近い) ・既に80以上の海外旅行代理店との関係構築も進んでおり、更なる受入拡大に向けて具体性のある計画となっている。
14	関東	長野県	佐久市	SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会	・酒蔵ホテル®(創業三百余年の老舗酒蔵の敷地内に現存する職人の宿舎を改装) ・蔵人体験(麹造り体験、日本酒仕込み体験、杜氏体験、酒米田植え・稲刈り体験) ・酒蔵見学(13の酒蔵等をめぐるバスツアー) ・酒米の圃場をめぐるとサイクリングツアー	・蔵人体験や、酒造りに用いる酒米の圃場等をめぐって酒造りへの理解を深める自転車ツアーなど、インバウンド向けに高付加価値かつ地域の農業との関連が深い体験コンテンツを造成し、その深化を図る計画となっている。
15	関東	静岡県	島田市 川根本町	大井川農泊推進協議会	・大井川流域に多数の製茶工場、特色ある茶の生産 ・山間地茶園・牧之原大茶園の美しい茶園景観 ・大井川の水で多彩な農産物、駿河湾ではサクラエビ等の水産物	広範な農泊地域を有することから、東海道ガストロノミーツアーや駿河湾ガストロノミーツアーなど4つのテーマで地域資源を活かしたガストロノミーツアーなど具体的に提案されている。
16	関東	静岡県	函南町	函南町農泊推進協議会	・丹那の酪農文化 ・蛇口から出るヨーグルト ・わさびを活かした多彩なグルメ ・PANORAMA TERRACE 1059 (360°の大自然と富士山の眺望が楽しめるスポット)	・わさびや丹那牛乳のバター製造過程で破棄されるバターミルクを活用した菓子など、地域固有の資源の活用を図る計画となっている。

「農泊インバウンド受入促進重点地域」各地域の取組のポイント

No	農政局	都道府県	市区町村	協議会名	地域における主なインバウンド向けコンテンツ	評価のポイント
17	北陸	新潟県	長岡市	寺泊広域まちづくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージレンタル「VILLAVOIX」での滞在 ・魚市場での海産物の購入、「VILLAVOIX」で調理 ・ミシュラン星付きシェフとの直接対話型の調理 ・お寺を中心とした歴史を楽しむ街歩き 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の漁港に水揚げされる水産物や史跡を中心とした地域資源を活用する計画となっている。 ・文化や独自性に重きを置く価値観(Modern Luxury志向)を持つ富裕層をターゲットとし、当該層を想定した宿泊施設を軸とした取組とする計画となっている。
18	北陸	富山県	射水市	アルベルゴディフーゾ新湊を拓く会	<ul style="list-style-type: none"> ・北前船寄港地の風情が残る「万葉の湊町」での滞在 ・漁業見学(ホタルイカ身投げや白エビ漁、競り見学等) ・寿司造り体験 ・黒瓦の家並み、海から見る立山連峰等の景観 	<ul style="list-style-type: none"> ・水産物、景観、歴史等の多くの地域資源の活用や、寿司づくり体験など工夫が凝らされた体験の進展を図る計画となっている。 ・「万葉の湊町」をキーワードとしてアルベルゴ・ディフーゾの正式認証獲得を軸とした戦略的な取組方針が見られる計画となっている。
19	北陸	富山県	南砺市	城端地区活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・散居村の景観(展望台からの眺望、パラグライダー体験) ・世界的版画家・棟方志功や民藝運動の創始者・柳宗悦ゆかりの「民藝の聖地」善徳寺の泊まれる民藝館「杜人舎」 ・僧侶に学ぶ腕輪念珠作り ・祭り(曳山祭り、むぎや祭り、虫干法会等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農村景観・食・伝統文化といった観光資源の磨き上げと発信不足、飲食店や体験プログラムの異文化・外国語対応、宿泊施設不足が課題。 ・観光資源の体験プログラム化をDMO富山県西部観光社・水と匠を中心に行うとともに、旅行展示会への出展や旅行事業者・インフルエンサーを活用したプロモーションを展開する。また、各施設の多言語対応や体験プログラムの多言語化、翻訳ガイドの対応等を進める。
20	北陸	石川県	白山市	白峰林泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・白山国立公園 ・白山手取川ユネスコ世界ジオパーク ・ユネスコエコパーク ・白山奥山人の生活と自然、伝統文化のストーリー ・アクティビティ(かんじきハイクなど) ・白峰重伝建地区のまちなみ ・日本古来のベジタリアン、ヴィーガン食(堅豆腐、油揚げ、山菜等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化による地域経済の縮小とコミュニティの弱体化が課題。 ・地域一体となった「白山白峰まるごとホテル(分散型ホテル)」の整備のほか、外国人からの問合せ受付等を行うサイト『Your Guide to Shiramine』の充実、サステナブルツーリズムを推進するコンテンツ開発等により受入拡大を図り、それを通じて関係人口の増加、地域文化の伝承者の育成を図る。
21	北陸	石川県	志賀町	くまの地域づくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・薬草栽培の祖である村松兵左衛門、薬草を取り入れた生活文化 ・野草と発酵が活かされた健康的な食事 ・千里浜や名勝巖門サイクリング、農村文化と地域住民との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定に能登信用金庫の経営アドバイスを受けており根拠が明確である。アジア圏と欧米からの個人客をターゲットとし「里山+古民家へ能登の文化」を打ち出すことが計画されている。
22	北陸	石川県	七尾市	大呑地域農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・寒鰯、氷見鰯で有名な鰯の産地 ・鰯を使用した巻鰯という特産品や朝とれ魚を飲食店で提供 ・「能登の里山里海」は世界農業遺産に認定 	<ul style="list-style-type: none"> ・能登の里山里海など豊かな地域資源を活かすことはResponsible Travellerとの親和性が高い。 ・里地里海の保全や景観保持、農業・漁業の生業継続に繋がる仕組みづくりがインバウンドにも評価されると考えられる。
23	東海	愛知県	田原市	田原市農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・メロン、イチゴ等の果物狩り ・新鮮な魚介類を使った料理 ・伊良湖温泉 ・サーフィンの聖地(世界大会開催) ・ナショナルサイクルルート 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客は多いもののインバウンド受入割合が低く、インバウンドに対応する人材や外国語表記等が整っていないことが課題。 ・インバウンド対応重点事業者・施設における英語対応、受入環境整備を進め、杏林大学と連携したインバウンド用ウェルネスツーリズムコンテンツの開発等により、インバウンドの受入拡大を図る。
24	東海	三重県	大紀町	一般社団法人大紀町地域活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産「熊野古道伊勢路」 ・かまどや囲炉裏、五右衛門風呂のある古民家を活用した農林漁業体験 ・民宿 ・松阪牛・真鯛・ブリ・鮎などを使った郷土料理 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロモーションや多言語化、キャッシュレス化が遅れており、認知度が低いのが課題。 ・外国語対応のHPやSNSによる情報発信、キャッシュレス対応に取り組むほか、ハラルやヴィーガンの受入体制の整備と専門メディアでのPRを通じて、インドネシアやマレーシアなど新たなターゲットの獲得を図る。

「農泊インバウンド受入促進重点地域」各地域の取組のポイント

No	農政局	都道府県	市区町村	協議会名	地域における主なインバウンド向けコンテンツ	評価のポイント
25	東海	三重県	鳥羽市	相差地域海女文化活性化協議会	・「日本で一番海女の多く暮らすまち」での海女小屋体験(現役海女との交流・食事)	・多くのインバウンド旅行者が訪れているが、海女小屋体験に訪れた後の宿泊に繋がっていないのが課題。 ・海女文化をフックとした日中・夜間のコンテンツの充実、宿泊施設の受入体制の強化、アクティビティ等のコンテンツと宿泊のセット販売等により、インバウンド宿泊者数増加に取り組む。
26	東海	三重県	津市	Inaka Tourism推進協議会	・日本初の「ビール風呂」 ・古民家での滞在、住民との交流、温泉、地元料理が楽しめる農家民宿 ・森林セラピー、禅、健康的な食等を組み合わせてストーリーづけた体験	・キャッシュレス対応、受入施設のWi-Fi環境等、受入環境の整備が課題。 ・これらの環境整備に対応しつつ、新規体験コンテンツの開拓、サイトコントローラ導入によるOTA対応、外国人ライターを起用したオウンドメディアの情報発信体制の構築により、町全体を一つの宿泊施設と想定したMisugi Village = Hotel構想の実現を実現させ、インバウンドの受入促進を図る。
27	近畿	京都府	南丹市	南丹市美山エコツーリズム推進協議会	・ベスト・ツーリズム・ビレッジ(UNTourism認定) ・かやぶきの里 ・ホームビジットプログラム(農家で過ごす半日～1泊2日) ・餅つき・薬草茶づくり等の農作業体験	・外国語対応がまだ不十分であるため体験型の観光コンテンツの提供が課題。 ・訪日外国人対応ができるガイドの育成、訪日外国人に向けた活動内容やFAQをまとめた多言語コミュニケーションシートの作成、町内看板等の多言語化等の受入体制整備を行い、また、在外エージェントへの営業活動等を行いながら、教育民泊とそこから派生するホームビジットプログラムを中心に地域の収益化を図る。
28	近畿	奈良県	明日香村	明日香交流人口促進協議会	・飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群(2026年の世界遺産登録を目指す) ・明日香法で守られてきた景観 ・ガストロノミーツーリズム(醤油・豆腐・薬膳・オーガニック野菜・特産いちご等)	・インバウンド教育旅行団体をホームステイ型民泊での受け入れる事業からの転換が課題。 ・明日香法で守られてきた景観について地域住民と来訪者が共に考えていく「課題解決プログラム」等、付加価値の高いコンテンツの提供を通じて、富裕層の受入拡大を目指す。
29	近畿	奈良県	宇陀市	宇陀市古民家活用地域活性化協議会	・オーガニックビレッジ宣言 ・薬草農園での摘み取り体験(「大和当帰」「大和橘」などの薬草や大和野菜を栽培) ・薬草・野草での創作イタリアン ・ヘルスツーリズム(ストレッチやヨガ体験など)	・体制整備と来訪のきっかけづくりが課題。 ・薬草や地域野菜を使用したオーガニック料理を提供するカフェ、空き家の古民家を改修した宿泊施設、宇陀産木材を利用したサウナの整備等とともに、英語のパンフレットの作成、HP、予約動線の英語対応に取り組み、地域の強みである歴史文化要素を発信する。
30	近畿	奈良県	御所市	金剛葛城山麓地区農泊事業推進協議会	・農林業体験(乗用草刈り機、手斧による薪割り等) ・大和伝統野菜等の収穫体験 ・葛城古道の散策 ・登山(金剛山、葛城山)	・コンテンツは揃ってきたものの、インバウンドを意識した受入体制の整備が課題。 ・地域の特産品を活かした食事や体験コンテンツの多言語化、外国語でのガイド対応が可能な体制整備、多言語対応の地域コンテンツ予約サイトの整備・管理に取り組み、インバウンドの宿泊者数増に取り組む。
31	近畿	和歌山県	那智勝浦町	太田川流域農泊振興協議会	・那智の滝 ・熊野古道巡り ・宿坊大泰寺(登録有形文化財)での坐禅・写経・朝がゆ・禅サウナ等の体験 ・農業体験(田植え、住民とのもちつき等)	・繁忙期中の宿泊施設不足と冬季の稼働率の低下が課題。 ・住職がいない無住寺院の宿坊化を通じて宿泊キャパシティを強化するとともに、冬季には旧正月を利用した中華圏や仏教が盛んなタイをターゲットに、正月の行事や仏教体験、冬に旬を迎える食材を活用した食・コンテンツ開発に取り組む。
32	中四	岡山県	瀬戸内市	せとうち牛窓玉津農泊推進協議会	・備前長船刀剣博物館にて、英国人学芸員による館内解説ツアー ・日本刀古式鍛錬の様子や現代刀の職人が常駐する工房 ・「刀剣の里」に隣接する足利尊氏の伝説や「韋負神社」	宿泊施設は海外OTAに登録されており、宿泊・食事・体験において英語やフランス語での対応が可能。 地域特有資源をのインバウンド向け体験として提供している。

「農泊インバウンド受入促進重点地域」各地域の取組のポイント

No	農政局	都道府県	市区町村	協議会名	地域における主なインバウンド向けコンテンツ	評価のポイント
33	中四	山口県	萩市	萩市ふるさとツーリズム推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・農漁村や城下町で萩古来の暮らし体験 ・瓦そばや押し寿司といったホームメイドな郷土料理を囲んで交流 ・着付けや神楽、学校訪問など、オリジナルの体験コンテンツ 	インバウンド率の実績・比率とも高く、欧米豪諸国のグループから個人客の受入を行っている。ホームステイ型の宿泊で自家栽培の農産物や地元食材の提供しており、農泊に関わる農林漁家の所得向上に繋がる取組となっている。
34	中四	徳島県	三好市他	にし阿波～剣山・吉野川観光圏協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・世界農業遺産「にし阿波の傾斜地農耕システム」 ・祖谷のかずら橋(世界の持続可能な観光地100選) ・祖谷渓谷(ミシュラングリーンガイド2つ星に認定) ・うだつの町並み(伝統的建造物群) ・アクティビティ(大歩危のラフティング等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドに対応した農林漁家民宿を増やすことが課題。 ・大歩危祖谷地区以外の知名度が低い地域の魅力を商談会やSNS等で発信し、にし阿波各地にある農林漁家民宿や体験型教育旅行の受入拡大を促進することで地域全体でのインバウンドの拡大を図る。
35	中四	香川県	土庄町	てしま農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・豊島美術館 ・瀬戸内国際芸術祭 ・歴史のある建物を改築した古民家泊 ・地引網体験(昔ながらの漁法で魚を捕り調理して食べ、海の生態系や環境について学ぶ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内国際芸術祭・万博の開催が予定される2025年に地域の宿泊施設、飲食店不足が見込まれる。 ・地域の遊休資産と地域食材を活かし、ターゲットと価格帯の違う多様な宿と農家レストランを整備することで、協議会の宿泊事業規模を2.5倍とするとともにインバウンド比率を引き上げ、芸術祭等に依存しない継続的な観光需要の開発に取り組む。
36	九州	福岡県	八女市	八女福島農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・八女茶および古民家での宿泊、客室内での八女茶や朝食体験 ・久留米餅や八女提灯、和紙等の伝統工芸 ・宿のスタッフをはじめ八女住民との交流 	Creft inn te が実施するアートツーリズム(手仕事を巡るツアー)が好調でアメリカ、イギリスのエージェントから定期的な送客を見込むことができる。古民家の宿泊施設や八女茶の活用など農山漁村ならではの地域資源を活かしている。
37	九州	福岡県	うきは市	うきは中山間地区農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・山里の風景や、宿とその周辺のたたずまい、フルーツ狩り、SNSで人気のスポット「浮羽稲荷神社」や「吉井町白壁の街並み」の散策。 ・サイクリストが高低差を楽しめるロケーションや、サイクリストのニーズに対応した1棟貸しの宿泊施設。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年より「ツール・ド・九州」の開催がスタートし、サイクルツーリズムの盛り上がりが見込まれる一方、サイクリストを受け入れる宿の不足が課題。 ・ロードバイクの整備・保管スペース・整備工具等の設置、故障時の相談ができる体制の構築、宿を拠点としたコースの案内等により、サイクリストに優しい地域としてプロモーションに取り組む。
38	九州	長崎県	島原市	島原市新農泊推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・キリシタンの歴史資源、自然資源、食の資源、豊かな人材資源 ・古き日本の良き姿や「ありのまま」の日本文化や日本食 ・城下町の武家屋敷、古民家利用カフェ・レストランや宿 ・海山川でアウトドア体験や雲仙温泉 	キリシタンの歴史などの地域特有の売りがある。課題を浮き彫りにし、各課題に対する対応策がしっかり検されている。宿泊単価は利用形態に応じ日帰りから長期滞在型まで幅広い価格帯を設定し、長期滞在を促す取組が計画されている。
39	九州	熊本県	山都町	山都農泊協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・通潤橋(国宝・世界かんがい施設遺産) ・水路を辿る古道散策 ・農泊・農業体験(有機JAS認定農業者数日本一の有機農業) ・農村芸能「清和文楽」の観劇・人形浄瑠璃操り 	<ul style="list-style-type: none"> ・有機JAS認定農業者数日本一、通潤橋などのウリはあるが、高千穂町や阿蘇郡市に隣接しており通過型観光が課題。 ・TSMCの進出により交流活性化が期待される台湾や、ベジタリアンの多い欧州等をターゲットに、有機農業を核とした里山体験等の有機農業と水に着目した観光コンテンツの磨き上げに取り組み、滞在時間の延長を図る。
40	沖縄	沖縄県	大宜味村	おおぎみまるとツーリズム地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーゾーン(世界五大長寿地域)である ・村の長寿の秘訣が総発行部数500万部を超えるベストセラー ・住民との交流や農業などから長寿の秘訣を体感 ・生活スタイルを体験できる「民泊・長寿コンテンツ商品」 	ブルーゾーン(世界五大長寿地域)として着目される大宜味村として、「長寿」を売りに他地域と差別化を図りながらインバウンドの受け入れを推進する取組が計画されている。